

# 地域復興支援活動「南三陸サポートプロジェクト」

## － 桜の植樹式を行いました



2021年5月13日、宮城県南三陸町志津川にある松原公園で、桜の植樹式を行いました。当社は南三陸サポートプロジェクトとして、同町で地域復興支援活動を8年間行ってまいりました。その集大成として、先日寄贈しましたあづまや（通称レンドリーステラス）が立地する松原公園に、5本のソメイヨシノを植樹しました。早く花を楽しめるようにと、樹齢30年、約5mの成木を準備いたしました。



南三陸町町長を始めとする南三陸町役場の方々や、松原公園に隣接する志津川中学校校長、そして新1年生50名に参加いただき、来賓の方々が代表して土をかぶせた後、30分ほど時間をかけて中学生の皆さんに土を入れていただきました。



式典では、南三陸町町長 佐藤 仁様より、オーストラリアおよび当社との強い絆についてお話いただき、「被災前の公園にも桜があり、被災前と同じように公園で花見をする光景がみられるようになる。来年の春には、皆さんでお花見をしましょう。」とのお言葉を頂戴しました。

当社代表取締役社長ガウチは、「来年の春にはこの桜が花を咲かせ、この松原公園が地域の皆さまにより親しまれる場所になることを願っています」と話しました。

レンドリースでは、持続可能な社会の発展のための社会貢献活動を推進しており、「2025年までに2億5000万豪ドル（約200億円）の社会的価値の創造」を目標に掲げて何ができるか模索しております。

（尚、当植樹式の様子は、読売新聞（宮城県地方版）、河北新聞、三陸新報に取り上げていただきました。）

### 南三陸サポートプロジェクトについて

2011年3月、東日本大震災発生直後、南三陸町へ救助隊を派遣するなど、さまざまな支援活動を行ったオーストラリア政府を後方支援するため、当社代表取締役社長であるアンドリュー・ガウチは大使館職員と共に南三陸入りしました。以降当社は、震災復興支援としてオーストラリア・ニュージーランド銀行が南三陸町に寄贈したオーストラリア友好学習館（通称コア館）の建設時に、オーストラリアのデザイン要素についてアイデアを提供するなど、計画実現に協力しました。竣工後も、コア館前の花壇に定期的に花を植えるなどの支援を行いました。

このような南三陸町とのご縁から、この「南三陸サポートプロジェクト」を2013年の春に開始し、3～4か月に一度の頻度で、延べ600名以上の社員やその家族、関係者が南三陸町を訪れ、コア館の花壇のメンテナンス、仮設住宅内の農園作業のお手伝い、仮設住宅の住民との交流「お茶っこ」を始めとするさまざまなボランティア活動を行ってきました。

被災された地域の方々をさまざまなボランティア活動でサポートするだけでなく、実際に現地を訪れ、被害にあわれた方々から話を聞き、震災や街の復興について知ること、そして家族や友人・同僚に伝えることで、風化を防ぎ支援の輪を広げることを目的として活動してまいりました。震災後 10 年という節目を迎え、この植樹式をもって、当プロジェクトは一区切りとなります。直接現地を訪問し、定期的な活動は終了となりますが、これまで築いてきた南三陸町の皆さまとご縁を今後も大切にしていきたいと思ひます。

